

根津鋼材(社長・根津訓光氏)には、生産・物流・営業・業務全般に関わる独自システムの開発やそれら自社システム運用による業務支援・データ管理・解析などを専門で行う「システムソリューション事業部」(事業部長・樋口良成取締役)がある。

同社ではシステムを活用した業務の自動化・省力(人)化、作業効率・安全性の向上はもちろん、ペーパーレス化やトレーサビリティ強化を推進。今後も戦略的に能力拡充していく方針のもとSEスタッフの増員を順次、進めていく。

**根津鋼材**

# 「システムソリューション事業」拡充へ スタッフ増員、フロア増床

システムソリューション事業部の執務フロア  
(長野県茅野市内)



につなげていく。としての役割を果たし  
この一環で、オている。

受発注ソフト「モ一  
床する計画だ。事ゼ」はその代表格であ  
業部の活動拠点り、最近ではペーパー  
は、長野県茅野市レスによる省力(人)  
の自社所有テナン化と遠隔操作によるロ  
トビル内5階にあーコストオペレーショ  
るが、1階スパーン態勢づくりを支援。  
スが空いたことか また、これまでに数  
らここも全面的に多く開発した自社シス  
活用する方向で検テムとその運用によっ  
討を進めている。て蓄積した膨大なデー

現在、事業部メンバ事業は、2002年に  
ーは総勢6人だが「近 当時取引のあった情報  
いうちに10人規模に増 システム専門企業「P 『見える化』し、ひと  
やす」(根津社長)考 DS」を事業継承した つのインプットでオー  
え。特に発想が柔軟で ことが発端。以降、根 ルOKの一気通貫シス  
斬新な若手層を積極的 津鋼材グループ全体の テム構築」を掲げた同  
に採用・育成し、将来 システム開発・運用、 社の次世代コンセプト  
を見据えた基盤強化と データ管理・解析を専 「Nコネクト構想」の  
スムーズなBCP対策 門的に担う「心臓部」 屋台骨を支える。